CIS におけるスポーツ・インフラ整備動向

2015 年 8 月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部欧州ロシア CIS 課

本レポートに関するお問い合わせ先
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部欧州ロシア CIS 課（ロシア CIS 班）
〒107-6006　東京都港区赤坂 1-12-32
Tel：03-3582-1890　E メール：ord-rus@jetro.go.jp

【免責条項】
本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

アンケート返送先　　FAX：03-3582-5309　　E-mail：ord-rus@jetro.go.jp
日本貿易振興機構　海外調査部　欧州ロシア CIS 課（ロシア CIS 班）宛

● アンケート ●
調査レポート：CIS におけるスポーツ・インフラ整備動向

調査レポートをお読みになった感想について、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問１：今回、本調査レポートの内容について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

４：役に立った　３：まあ役に立った　２：あまり役に立たなかった　１：役に立たなかった

■質問２：①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本調査レポートに関するご感想をご記入下さい。

■質問３：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等をご記入願います。

■お客様の会社名等をご記入ください（任意記入）。

ご所属	□企業・団体	会社・団体名
	□個人	部署名

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針（http://www.jetro.go.jp/privacy/）に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～

はじめに

ロシア・CIS 地域では、2017 年のカザフスタンでの冬季ユニバーシアードや 2018 年のロシアでのサッカー・ワールドカップを始め、大規模なスポーツイベントが開催される予定である。2014 年 2 月に開催されたソチ冬季五輪では、施設整備で日本企業の受注も見られるなど、今後もさらなる参入が期待される。本調査レポートでは、ロシア・CIS 主要国のスポーツ施設整備に関する今後の計画のほか、現在の整備状況や課題を紹介する。

本調査レポートは、2015 年 6 月 8 日～16 日にジェトロの日刊紙「通商弘報」に掲載された特集「CIS におけるスポーツ・インフラ整備動向」の記事を取りまとめたものである。

2015 年 8 月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部欧州ロシア CIS 課

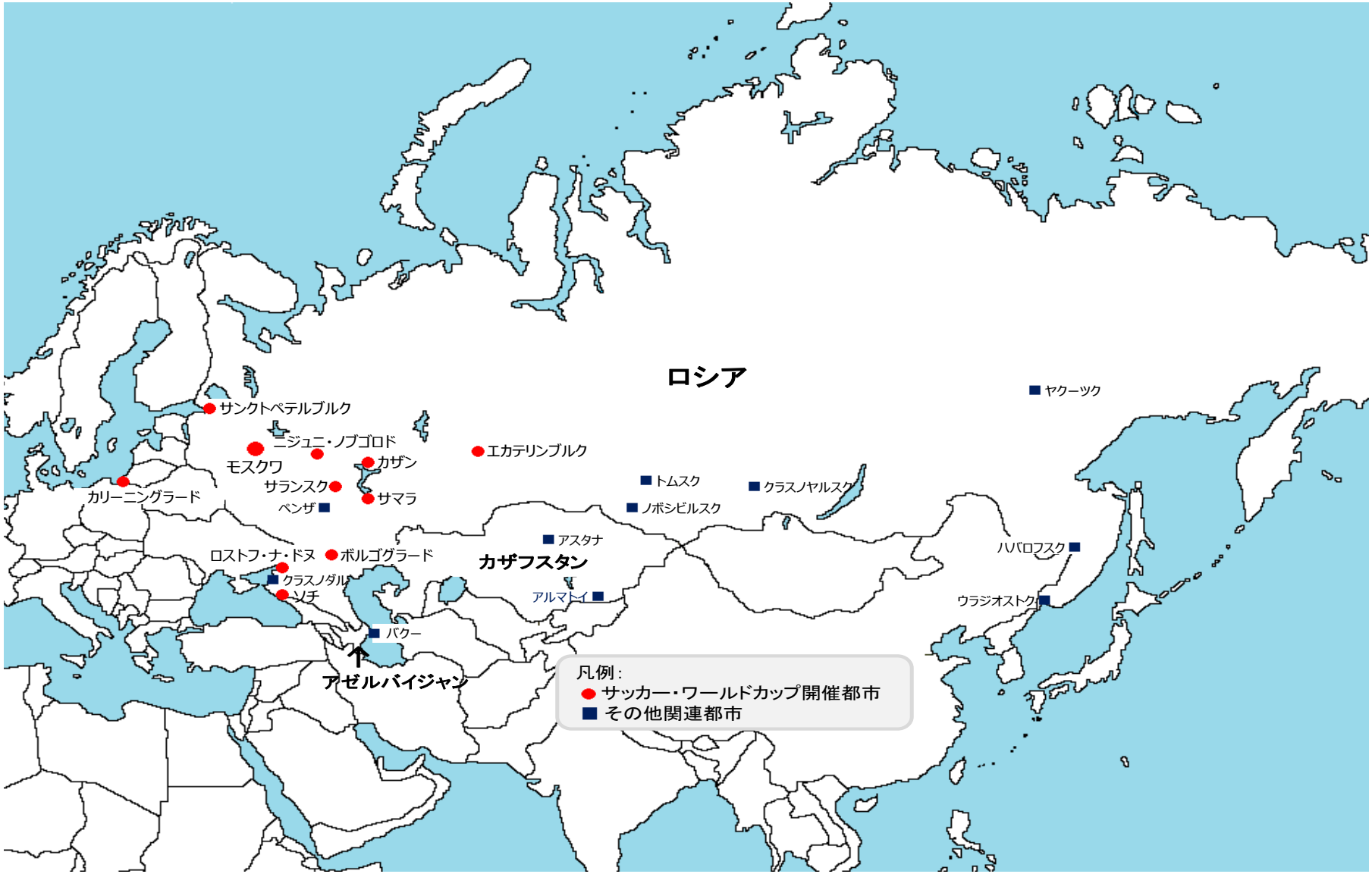
Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

目　次

1.　国際大会招致に積極的、施設整備も推進（ロシア） 7
2.　ルーブル安でW杯スタジアム改修費が高騰（ロシア） 11
3.　モスクワのW杯中心会場は 2016 年に改修完了（ロシア） 14
4.　サンクトペテルブルクのスタジアム建設は 2016 年に完了予定（ロシア） 17
5.　カリーニングラードのスタジアムは 2015 年下半期に建設開始（ロシア） 19
6.　まずは首都バクーでの欧州版五輪の開催に注力（アゼルバイジャン）..... 20
7.　アルマトイで冬季ユニバーシアード関連 3 施設の建設進む（カザフスタン） 23

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

関連地図



Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

1. 国際大会招致に積極的、施設整備も推進（ロシア）

政府は積極的にスポーツの国際大会を招致すると同時に、国民のスポーツ振興やスポーツ施設の整備も国家事業の一環として取り組んでいる。最終的な狙いは国民の健康増進にある。しかし原油安の影響で 2015 年のスポーツ関連予算は当初予算と比べ 1 割削減となる見込みだ。不況にさらされる中、既進出のスポーツ用品メーカーは事業最適化に取り組んでいるほか、中国メーカーの新規進出もみられる。

＜スポーツを通じて国民の健康を増進＞

ロシアでは 2013 年に世界陸上選手権（開催都市：モスクワ）、2014 年に冬季五輪（ソチ）が開催されたほか、今後も 2018 年のサッカー・ワールドカップなど国際的なスポーツ大会が開催される予定だ（表 1 参照）。このほか、政府は 2017 年のボクシング世界選手権、2023 年のバスケットボール世界選手権の招致にも意欲を示している。

表1 ロシアで開催される予定の主な国際スポーツ大会

大会名	開催都市	時期
世界フェンシング選手権	モスクワ	2015年7月
世界水泳選手権	カザン	2015年7～8月
卓球欧州選手権	エカテリンブルク	2015年9～10月
F1世界選手権	ソチ	2015年10月
アイスホッケー世界選手権	モスクワ、サンクトペテルブルク	2016年5月
ボブスレー、スケルトン世界選手権	ソチ	2017年
サッカー･コンフェデレーションズカップ	モスクワ、サンクトペテルブルク、カザン、ソチ	2017年6～7月
サッカー・ワールドカップ	エカテリンブルク、カザン、ニジュニ・ノブゴロド、サマラ、ソチ、ボルゴグラード、カリーニングラード、モスクワ、ロストフ・ナ・ドヌ、サランスク、サンクトペテルブルク	2018年6～7月
ユニバーシアード冬季大会	クラスノヤルスク	2019年3月

（出所）スポーツ省資料、各国際スポーツ団体ウェブサイトを基に作成

スポーツ行政を担うのはスポーツ省で、国際大会の招致以外にも、スポーツを通じた国民の健康増進が重要任務とされている。ビタリー･ムトコ・スポーツ相は、プーチン大統領とともにサンクトペテルブルク副市長を務めた経歴を持つ。その後、サッカークラブの会長や、ロシア・サッカー連盟会長を歴任した。

＜原油価格下落で 2015 年予算は 1 割カット＞

ロシアにおけるスポーツの振興と関連インフラの整備は、国家プログラム「体育およびスポーツの発展」の枠内で、連邦特定プログラム「2006～2015 年のロシア連邦における体育およびスポーツの発展」（2006 年 1 月 11 日付連邦政府決定第 7 号）に基づいて進めら

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

れている。2016 年以降については連邦特定プログラム「2016～2020 年のロシア連邦における体育およびスポーツの発展」（2015 年 1 月 21 日付連邦政府決定第 30 号）が制定されている。

発展プログラムにおける目標の 1 つに、恒常的に運動やスポーツを行う人々の比率の引き上げがある。発展プログラム策定時の 2004 年のスポーツ人口の比率は 11.6%だったが、これを 2020 年までに 40%に引き上げる。2015 年 5 月 18 日にモスクワで開催されたスポーツ発展に関する会合で、2014 年の比率は 26.7%、スポーツ人口は 3,910 万人と発表された。発展プログラムの当初見込みの 29%をやや下回る水準となっている。

2006～2015 年の発展プログラムの予算規模は、連邦予算が 973 億 6,020 万ルーブル（約 2,340 億円、1 ルーブル＝約 2.3 円）で、地方予算や民間投資を合計すると総額 1,589 億 5,370 万ルーブルに上る。707 ヵ所の大衆利用向け施設が整備される見込みで、2014 年 12 月現在で 572 ヵ所の施設が稼働している。例えば、ペンザ市には氷上競技施設「ディーゼル・アリーナ」が 2011 年 12 月に開設された。エカテリンブルク、ノボシビルスク、ヤクーツク、クラスノヤルスク、トムスクにはサッカー場が整備された。

しかし、2014 年 11 月以降の原油価格下落や景気悪化に伴い歳入減が見込まれるため、2015 年の連邦予算は 2015 年 4 月に全面的に削減された。スポーツ予算についても当初額から 1 割削減となる 110 億 5,000 万ルーブルになった。

＜2016 年以降は北コーカサスと極東を重視＞

2016～2020 年の発展プログラムでは、連邦予算から 739 億 8,000 万ルーブルが拠出され、地方予算や民間投資を含めると総額 943 億 3,000 万ルーブルに上る。

同プログラムでもスポーツ施設の改修・建設計画が含まれており、352 ヵ所の施設が対象となっている。モスクワ州パラモノボ村にある連邦多目的スポーツ・トレーニングセンターの冬季競技施設の改修・建設、クラスノダルのクバン国家体育・観光大学にあるトレーニングセンターの改修、モスクワのロシア国家青少年体育・スポーツ・観光大学の多目的スポーツ施設の改修などが盛り込まれている。

北コーカサスや極東地域などが重点地域とされており、極東では 39 億 5,000 万ルーブルを投じて、ハバロフスクの極東国家体育アカデミーとウラジオストクの沿海国家オリンピック予備専門学校内にロシア代表チーム向けトレーニング施設が建設される。国家的な計画以外でも、地方政府や民間ベースでもスポーツ施設の整備が進んでおり、中には外資系企業が参画する案件もある（表 2 参照）。

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

表2　外資系企業が建設等に参画するスポーツ関連施設建設事業

施設名	完工予定年	投資見込み額（100万ドル）	所在地	発注者	受注者	施設概要
多目的施設「VTBアレーナ・パーク」	2017年	1,500	モスクワ	管理会社ディナモ	総合設計：スピーチ オフィス棟のコンサルティング：クッシュマン＆ウェイクフィールド・スタイルズ・リャボコヴィルコ（米国） 小売店舗棟のコンサルティング：コリアーズ・インターナショナル（米国） 事業実施監督：コムストリン 建設総合請負：コーデスト・インターナショナル（イタリア） 建設請負：FPKサトリ	・座席数2万6,000席の中央スタジアム「ディナモ」、1万数千席のアイスホッケー、バスケットボール、コンサート用の小スタジアム「VTBアレーナ」を整備 ・6万2,800平方メートルの敷地にトレーニング施設、3万平方メートルの敷地に住居棟、オフィス棟、ホテルを建設する。2014年9月時点で掘削作業に着手 ・完工は2017年の予定で、日付は、ディナモ・モスクワで活躍し、FIFAから最優秀ゴールキーパーに選出されたレフ・ヤシン（1929～1990年）の生誕日（10月22日）としている
テーマパーク「ロシア」	2021年	8,000	モスクワ州ドモジェドボ市行政区	モスクワ州政府 国立ロシア公園管理	構想作成：クッシュマン＆ウェイクフィールド・スタイルズ・リャボコヴィルコ（米国）	・スポーツ施設として、スケート場、ゴルフ場、カーリング場、スノーボード用ハーフパイプ、スキー場、BMX（競技用自転車）コースなどを整備 ・このほか、ロシア各地域の花木を集めた植物園、12以上の画面を持つシネマ･コンプレックス、コンサート･ホール、スパ施設、宿泊施設を建設
ゴルフ・クラブ「ミハイロフカ・ペテルホフ・レイクス・コース」	2017年	117	サンクトペテルブルク	ゴルフ・クラブ ミハイロフカ	基本計画作成：オブ・アラップ＆パートナーズ・インターナショナル（英国） 開発：プロツィオン 設計：ミロノフ設計事務所	・敷地面積86ヘクタールのうち、73ヘクタールで18のゴルフコースを建設 ・このほか、練習施設、レストラン、会議場などが整備される
フィットネス施設	2015年 第3四半期	9	サンクトペテルブルク	レオンチェフスキー・ムィス	設計（一部）：YOO（英国） 運営事業者の選定：コリアーズ・インターナショナル	・3階建て施設で、1階と2階にスパ施設、3階にプールを設ける
サッカー･スタジアム「ゾロタヤ（黄金）・コロナ／クバン・アレーナ」	2018年	260	クラスノダル地方エンカ行政区	クラスノダル地方政府	デザイン：AFLアーキテクツ（英国）	・4万5,000人収容。6階建て。 ・アルミニウム、錫、銅からなる合金材料を利用して、天井を黄金色にする ・プロサッカークラブ「クバン」の本拠地となる ・当初ワールドカップ2018の会場とされていたが、建設の資金調達スキームの変更に伴い、対象から外れた
サッカー･スタジアム	2015年 第4四半期	200	クラスノダル市	インベストストロイ	建設総合請負：エスタ建設（トルコ）	・3万3,000～3万6,000人収容 ・競技場には、排水・暖房・散水・照明・通気設備が設けられる ・プロサッカークラブ「クラスノダル」の本拠地となる
リゾート施設「PortOle!」	2019年	200	クラスノダル地方アゾフ海岸	レアルコム・ポータル	施設デザイン：クラウド9（スペイン）	・ホテルも併設される観光施設 ・スポーツ娯楽施設が整備される

（出所）インフォライン「2015～2019年のロシアにおけるスポーツ施設建設180大プロジェクト」（2014年10月）および関係施設・企業ウェブサイトを基に作成

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

＜スポーツ用品市場に中国メーカーが参入＞

スポーツ用品市場は 2014 年以降の厳しい経済情勢にさらされている。調査会社インフォライン・アナリティクスによると、2014 年のスポーツ用品（スポーツ用衣料品を含む）市場は約 2,500 億ルーブルで前年並みの水準だったが、販売数量ベースでは 15%超の下落だったという。同市場で最大手のアディダスは、2014 年 8 月にロシア事業の見直しを始め、2014 年の開設店舗数を当初予定の 150 から 80 に減らした。2015 年も開設数を 100 店舗程度に抑え、200 店舗を閉鎖するという（「RBK」紙 3 月 6 日）。

アディダス・グループのヘルベルト・ハイナー最高経営責任者（CEO）は「消費者信頼感などの悪化による不況の影響を受けているが、長期的にロシアが成長市場であるという位置付けには変わりない。われわれの忍耐が実を結ぶと確信しており、この危機をチャンスにして、店舗開設数を減らし、コスト構造の最適化をさらに進めることで、事業の柔軟性を高めたい」としている（同社年次報告書 2014 年版 2015 年 3 月 15 日）。同社の 2015 年第 1 四半期報告書によると、ロシアを含む CIS 地域での純売上高は、前年同期比 33.6%減の 1 億 6,200 万ユーロだった。

2014 年には中国メーカーの参入もみられた。安踏（ANTA）体育用品が 5 月、ロシア市場への参入を発表した。同社は 2016 年末までにモスクワ、サンクトペテルブルクなど主要都市に、店舗面積 120～150 平方メートルの 20 のフランチャイズ店を開設し、5 年以内に 340 店舗に増やすほか、ブランド店として 500 店舗を開き、ロシアで業界 4 位以内を目指すという。

ANTA ブランド製品の価格は、アディダスやナイキと比べて 3 割程度安い。市場調査会社エスパー・グループによると、市場の大半はアディダス、ナイキ、リーボック、プーマ、地場のボスコなどが占めているが、残る 25%の市場に中国ブランドが参入する余地もあるという（「RBK」紙 2014 年 5 月 13 日）。

安踏体育用品の現地法人アンタ・ルスは、ロシア企業で流通業のスポルト 2011 と合弁で設立された。同社ウェブサイトによると、主要都市のショッピングセンター内に既に 8 店舗を展開している。

（2015 年 6 月 8 日　欧州ロシア CIS 課　浅元薫哉）

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

2. ルーブル安でW杯スタジアム改修費が高騰（ロシア）

2018 年のサッカー・ワールドカップ（W 杯）開催に向け、ロシア各地でスタジアムをはじめとするインフラ整備が進む。順調に進む都市がある一方、通貨ルーブル安による整備費の高騰や、手付かずのまま長年放置されてきた輸送インフラの修復、開催都市をつなぐ高速鉄道整備の遅れなどの課題もみられる。

＜新設・改修のスタジアムは 2017 年までの完工目指す＞

2018 年のサッカー・ワールドカップでは、11 都市の 12 スタジアムで試合が行われ、うち 9 ヵ所が新設、3 ヵ所が改修される（次頁表参照）。新設のうち、「カザン・アレーナ」は 2013 年 7 月に開催されたユニバーシアードを目標に建設され、同年 6 月に運用を開始しているほか、モスクワの「スパルタク（オトクリチエ・アレーナ）」も 2014 年 8 月に開所した。その他の施設は 2016～2017 年中の完工を目指し、工事が進められている。

ニジュニ・ノブゴロドでは、2014 年 12 月に請負業者ストロイトランスガスとの契約が締結され（契約額：167 億 5,600 万ルーブル）、予定より 2 ヵ月前倒しの 2017 年 9 月に完工する予定。サマラでは、土台部分の工事が進んでおり、2017 年 12 月までに完成する予定だ。モルドビア共和国の首都サランスクでは、くい打ち工事が進行中で近く土台部分の工事が開始される予定。現時点のサマラとサランスクでの工事には、国産建築資材のみが使用されている（タス通信 4 月 13 日）。

ロストフ・ナ・ドヌのスタジアム建設契約は 2014 年末に締結されたが（契約額：202 億ルーブル）、30 億ルーブル程度の経費削減の検討が進められている（ノーボスチ通信 3 月 2 日）。ソチでは、2014 年 2 月の冬季五輪で使用されたスタジアム「フィシト」が、ワールドカップの開催基準を満たすため、オープンルーフに改修される。2016 年 6 月に完工の予定で、2017 年のサッカー・コンフェデレーションズカップ会場の 1 つとなる。

開催準備の予算規模（連邦予算、地方予算、民間資本の合計）は、当初 6,606 億ルーブルを想定していたが、2015 年 6 月 17 日付政府決定第 598 号により、6,315 億ルーブルに縮小することとなった。連邦予算には変更なく、地方予算は 1,010 億ルーブルから 970 億ルーブルとなり、民間資本は当初の 2,238 億ルーブルから 247 億ルーブル減の 1,991 億ルーブルとなった。ビタリー・ムトコ・スポーツ相によると、予算縮小の背景には過剰なホテル建設数の見直しがあるという（「RBK デイリー」6 月 22 日）。

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

表　開催都市とスタジアムの概要

	都市名	スタジアム名	新設/改修	完工予定	発注者	設計請負業者	建築請負業者	特徴
1	モスクワ	ルジニキ	改修	2017年 第2四半期	ルジニキ	モスインジプロエクト	モスインジプロエクト	開幕戦、決勝は同スタジアムで開催。改修で観客・フィールド間の距離が近くなる
2		スパルタク （オトクリチエ・アレーナ）	新設	2014年 8月開所	スパルタク	AECOM（米）、 VGESプロエクト	ビジネステフプロエクト、 ポシエブロストロイ、 APCエンジニアリング	FCスパルタクのホームスタジアムのため、クラブカラーの赤と白が基調のスタジアム
3	サンクトペテルブルク	ゼニト・アレーナ	新設	2016年 第2四半期	サンクトペテルブルク 建設委員会	黒川紀章建築事務所（日本）	トランスストロイ	日本人建築家・黒川紀章氏が設計した。欧州随一の最新技術が備わったスタジアムに
4	ボルゴグラード	アレーナ・ポベダ	新設	2017年 第4四半期	スポルト・インジニリング	スポルト・インジニリング	ストロイトランスガス	ボルガ川沿岸の土手に建設される多機能なスタジアム。基調色は青と水色
5	エカテリンブルク	ツェントラリヌィ	改修	2017年中	スポルト・インジニリング	スポルト・インジニリング	シナラ・デベロプメント	1950年代前半に建設されたスタジアム。正面は歴史的価値からそのまま残される
6	カリーニングラード	アレーナ・バルチカ	新設	2017年 第4四半期	スポルト・インジニリング	モストビク	クロッカス・インターナショナル	押し寄せる波をイメージし、バルト海の象徴である琥珀（こはく）の色に輝くスタジアム
7	カザン	カザン・アレーナ	新設	2013年 6月開所	タタルスタン共和国建設省	タトインベストグラジュダンプロエクト	建設会社カザン	2013年のユニバーシアード開催に向け建設。上空からはスイレンのように見える
8	ニジュニ・ノブゴロド	ボルガ・アレーナ	新設	2017年 第4四半期	スポルト・インジニリング	スポルト・インジニリング	ストロイトランスガス	ボルガの自然－水と風をテーマにしており、波状の半透明なファサードが特徴的
9	ロストフ・ナ・ドヌ	ロストフ・アレーナ	新設	2017年中	ロストフ州体育・スポーツ省	スポルト・インジニリング、 ポピュラスLLC（英、基本設計担当）	クロッカス・インターナショナル	ドン川をイメージした曲線が屋根などに多用され、周辺の景観とも一体化
10	サランスク	ユビレイヌィ	新設	2017年 第2四半期	モルダビア共和国政府建設局	スポルト・インジニリング	建設会社カザン	外壁に暖色の半透明パネルを用い太陽を表現する。LEDメディアファサードも設置
11	サマラ	コスモス・アレーナ	新設	2017年 第2四半期	サマラ州スポーツ観光青年省	テルNIIグラジュダンプロエクト、 GMPアルヒテクテン（ドイツ、基本設計担当）	建設会社カザン	高さ60メートルのドーム状のスタジアム。ライトアップされる夜はより印象的に
12	ソチ	フィシト	改修	2016年 第4四半期	クラスノダル地方建設局	SMUクラスノダル	SMUクラスノダル	ソチ五輪で開閉会式に使用されたスタジアム。改修後はオープンルーフになる

（出所）インフォライン「2015-2019年のロシアにおけるスポーツ施設建設180大プロジェクト」（2014年10月）、各種報道を基に作成

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

＜輸送インフラの老朽化が激しいボルゴグラード＞

ボルゴグラードでは、「ポベダ（勝利）」という名称が付いたスタジアムの建設が進む。しかし、イーゴリ・シュワロフ第1副首相が4月のボルゴグラード訪問時に、スタジアムの建設工事について「もっと目に見える基礎工事の進捗を期待していた」と遅れを示唆した上、スタジアム以外のインフラについても「率直に言って、非常に状態が悪いものがある」と指摘するなど課題は多い（タス通信4月6日）。

ボルゴグラードの大部分の道路は、第2次世界大戦後に整備されて以降、長い間修復されておらず、2018年までに道路の総改修や迂回道路の整備が必要だ。現状について、ボルゴグラード州道路輸送委員会のアナトリー・ワシリエフ副委員長は「現在の交通インフラは合理的ではなく、多くのルートが重複している。また、街に小型乗り合いバスが氾濫しているのも大きな問題だ。公共車両用車線を設けることやトラム、トロリーバスの調達も検討中。トラムの新線計画もあり、推定事業費は100億ルーブル」としている（タス通信4月6日）。

＜ルーブル安に加え政策金利引き上げも影響＞

開催都市の中で最も東に位置するのはエカテリンブルク。1950年代半ばに建設され、文化遺産リストにも登録されているメーンスタジアムは、改修により収容能力が2万7,000人から3万5,000人に拡大し、295台の自動車を収容できる地下駐車場も整備される（ロシア2018通信2014年11月9日）。現在行われている解体作業の終了後、改修工事が開始する予定で、シナラ・グループ傘下のシナラ・デベロップメントが建設請負業者として従事する。当初、メーンスタジアムの改修費は80億ルーブルとされていたが、ルーブル安による輸入建築資材の価格上昇と政策金利引き上げ後の資金調達コストの上昇により、2割程度増大する、とシナラ・グループのミハイル・ホドロフスキーCEOはみている（ウラル地方ニュースサイト「ウラ・ル」4月1日）。

中央スタジアム周辺の道路網整備には43億ルーブルが充当され、調達手続きが進行する。また、中央スタジアムの隣に400台の収容が可能な2階建ての立体駐車場の2016年完成を目指す。公共調達情報が載っている政府公式ウェブサイトによると、予定契約額は約6億5,400万ルーブル。医療インフラについても病院の改修のほか、ドクターヘリ用ヘリポートの設置や最新医療機器導入など整備が進む。宿泊施設については、スベルドロフスク州政府は韓国のロッテグループに協力を要請した（タス通信3月26日）。

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

＜モスクワ～カザン高速鉄道の 2018 年完工は厳しい状況＞

カザンで試合会場となる「カザン・アレーナ」（4 万 5,105 人収容）は既に利用が始まっており、プーチン大統領が「カザンのインフラは世界レベル」というほど、開催に向け大きな問題はみられない。ただ、期待されていたモスクワ～カザン（約 770 キロ）を結ぶロシア初の高速鉄道の 2018 年までの完工は厳しい状況だ。同整備の総事業費は 1 兆ルーブルで、同鉄道が開通すると現在約 13 時間を要するモスクワ～カザン間が 4 時間程度に短縮される（「ロシア新聞」3 月 30 日）。

ロシア鉄道のウラジミル・ヤクーニン社長によると、資金調達の遅延が事業進捗に影響しているという。同氏は「今年、80 億ルーブルの資金が確保できれば設計を開始でき、2018 年までにニジュニ・ノブゴロドまでの区間は整備が可能」と述べた（「ベドモスチ」紙 2 月 15 日）。その後、2015 年 3 月末に中国が同事業への投資と事業実施のための共同会社設立を提案し、3～4 月にかけて行われたモスクワ～カザン間を結ぶ高速鉄道プロジェクトの入札では、中国鉄路工程総公司（CREEC）がニジェゴロドメトロプロエクトと企業連合モスギプロトランスを組み、建設に関わる技術調査、開発計画策定、測量調査、設計書作成に関する契約を 200 億ルーブルで落札した（ロシア鉄道プレスリリース 4 月 30 日）。
〔2015 年 6 月 9 日　欧州ロシア CIS 課　田端義明（7 月 28 日加筆）〕

3. モスクワのW杯中心会場は 2016 年に改修完了（ロシア）

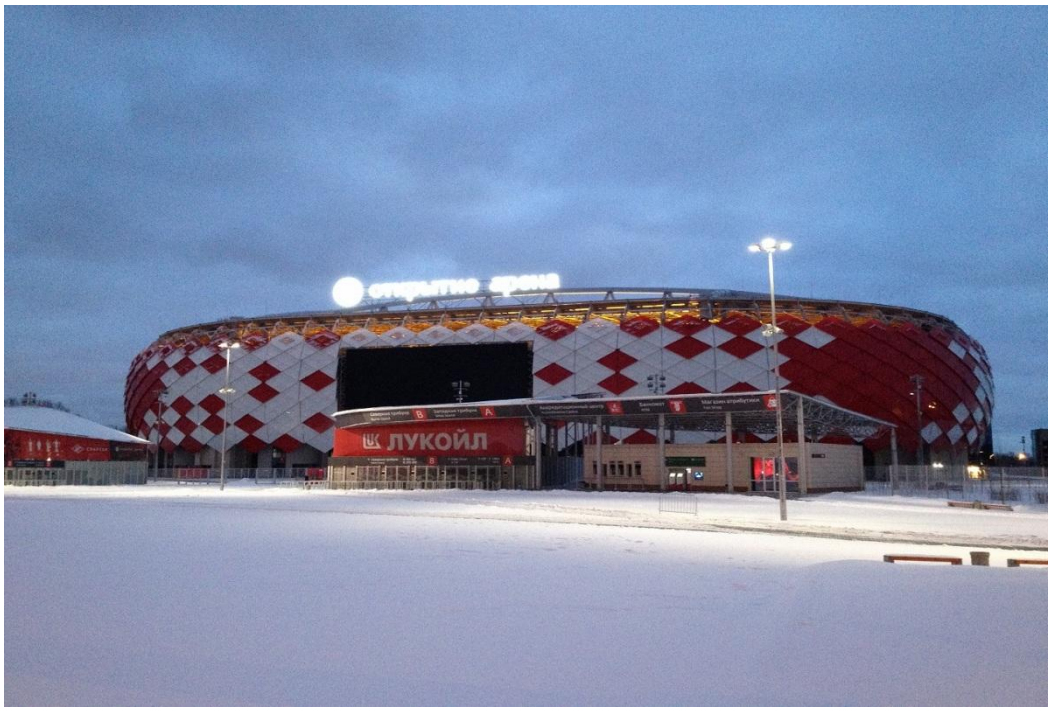
2018 年に予定されているサッカー・ワールドカップ（W 杯）開催に伴い、モスクワに建設される中心会場施設と周辺の整備計画で、スポーツ・インフラ施設整備への支出は 2,906 億ルーブルに上る。大会参加チームの練習と試合会場となるスタジアム建設、関連インフラ（地下鉄駅や道路の建設など）の整備プロジェクトは計画どおりに進展している。しかし、ルーブル安により工事関連経費が上昇する恐れがあり、政府は経費を抑える方法を探している。

＜モスクワ市の整備計画に 2,906 億ルーブル＞

2014 年 4 月 18 日付モスクワ市政府決定第 183－RP 号で定められた「サッカー・ワールドカップ 2018 開催準備に伴うモスクワ市の実施計画」によると、スポーツ・インフラ施設整備向けの予算は 2,906 億ルーブルとなっている。うち、約 643 億ルーブルはモスクワ市の予算から、約 2,218 億ルーブルは予算外で資金調達し、ほかに約 46 億ルーブルが連邦予算などから拠出される。

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

同計画に記載されているプロジェクトの中では、モスクワ市内の道路・交通インフラ関連プロジェクトが最も予算が多く、総額約 1,924 億ルーブルとなる。同プロジェクトでは試合が行われるモスクワ市西部の「オトクルィチエ・アレーナ（通称：スパルタク・スタジアム」にアクセスできる地下鉄駅スパルタクが 2014 年 8 月に開業している。スタジアムに隣接するボロカラムスコエ街道は 2017 年 12 月の完成に向け拡張工事が進められている。また、モスクワ市南西部のルジニキ・スタジアムの近くを走るモスクワ鉄道小環状線に新たな駅が建設される予定だ。



「オトクルィチエ･アレーナ（スパルタク・スタジアム）」（2015 年 3 月撮影）

2 つ目の大規模プロジェクトは、モスクワ市のスポーツ施設の建設・改修のプロジェクトで、総額は約 338 億ルーブル。同プロジェクトの枠内でスパルタク・スタジアムの建設が行われ、サッカー・ワールドカップの中心会場となるルジニキ・スタジアムの改修工事も実施される。また、練習用の幾つかのスタジアム建設・改修計画もある。

このほか、通信インフラの整備などに約 76 億ルーブル支出される予定だ。特にルジニキ・スタジアムのエリア内には国際放送センターが建設されることとなっている。

＜ルジニキ・スタジアムの改修工事は予定より早めに完了＞

ロシア最大のルジニキ・スタジアムはサッカー・ワールドカップの中心会場となり、開会式と決勝戦が行われる予定だ。1980 年に開催されたモスクワ夏季五輪のシンボルであり、

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

ロシアの最も重要なスタジアムであるルジニキの改修プロジェクトでは、スタジアムの歴史的な外観を保存すると同時に近代的な技術・設備に整備するという課題を抱える。

同プロジェクトにより、スタジアムの収容人数を 8 万 1,000 人に拡大する予定で、屋上に特殊なメディアスクリーンを設備する。他方、スタジアム内には Wi－Fi データ送信システムを導入し、試合の最も面白い場面の再現、チームの人員、試合に関する統計情報などを観客がスマートフォンやタブレットへダウンロードできるようにする計画だ（ワールドカップ 2018 情報サイト「ロシア 2018 通信」2014 年 12 月 22 日）。

ルジニキの改修工事は 2013 年に着工しているが、都市建設政策・建設担当のモスクワ市のマラット・フスヌリン副市長によると、完成は当初計画より 1 年早まり 2016 年になる予定だという（「ロシア 2018 通信」2 月 11 日）。

もう 1 つの重要な施設、スパルタク・スタジアムについては、建設が 2007 年に開始され、2014 年 9 月に開所した。今後、同スタジアムの周辺には、ワールドカップの観客および参加者のために 2 軒のヒルトン・ホテルが建設される計画だ。

＜政府は予算の抑制方法を模索＞

ロシアの景気後退と急激なインフレ進行に伴い、政府はサッカー・ワールドカップに関連するスポーツ・インフラ施設整備予算を抑える方法を模索している。建設費用について、ムトコ・スポーツ相は「われわれは既に決定した予算の枠内で活動しており、われわれが負っている義務を破るわけではない。予算の枠内で工事を終えるために、ワールドカップ向けの費用を引き上げるつもりはない」と発言している（スポーツ省記者発表 2 月 17 日）。

2 月上旬、ワールドカップ用のスタジアム建設に関する政府会議でイーゴリ・シュワロフ第 1 副首相は、建設費用を圧縮する方法の 1 つとして、発注者から生産者までの取引の流れをチェックするよう関係機関に指示した。理由は、費用増の原因と考えられる仲介業者を排除するためだ。

政府会議では、もう 1 つの圧縮方法として、輸入設備を国産に代替する可能性が検討された。ムトコ・スポーツ相によると、現時点でスタジアム用の設備の中で輸入設備の割合は 70%に達し、そのうち 2～4 割は国産への代替が可能だという。特にスタジアムの建設工事に使用される輸入金属製品については 9 割程度までロシア製に代替することが可能と指摘している（インターファクス通信 2 月 11 日）。

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

ムトコ・スポーツ相は可能な支出抑制方法として、特定の設備の輸入関税率を無税にすること、また、国際サッカー連盟（FIFA）の要求に反しない程度の変更を建設プロジェクトに追加することを挙げた（タス通信 2 月 3 日）。

（2015 年 6 月 10 日　モスクワ事務所　エカテリーナ・クラエワ）

4. サンクトペテルブルクのスタジアム建設は 2016 年に完了予定（ロシア）

2016 年の世界アイスホッケー選手権、2018 年のサッカー・ワールドカップ、2020 年のサッカー・UEFA（欧州サッカー連盟）欧州選手権の開催都市となっているサンクトペテルブルク。同市では、こうした国際イベント開催に向けて、2016 年完工予定のスタジアム建設のほか、地下鉄や道路、空港などのインフラ整備が急ピッチで進められている。

＜コンフェデ杯の開催に間に合わせる＞

サッカー・ワールドカップ開催前年の 2017 年 6 月 17 日～7 月 2 日には、サンクトペテルブルク市を含む 4 都市（ほかにモスクワ、カザン、ソチ）で国際サッカー連盟（FIFA）コンフェデレーションズカップが開催される。市内北西部のクレストフスキー島で 2007 年から建設が進められているスタジアム「ゼニト・アリーナ」は、現時点では 2016 年 5 月に完成予定となっている。敷地面積は 28 万平方メートルで、収容人数は 6 万 8,000 人の予定。なお、2015 年 2 月時点で同スタジアム建設の進捗度は約 65%。

「ゼニト・アリーナ」の建設費用は最大 3,490 億ルーブルで、その経費は主に市予算から支出される。建設工事の発注者はサンクトペテルブルク市建設委員会で、総合請負業者としてトランスストロイが選定されている。

このほか、連邦予算および地方予算、民間資本により、3 ヵ所（ペトロフスキー、スメナ、ディナモ）のトレーニングセンターの改修も予定されている。

＜地下鉄新駅や主要道路立体交差化のプロジェクトも＞

スタジアム建設と同時並行で進められているのが、地下鉄や道路、空港などのインフラ整備だ。連邦予算からサンクトペテルブルク市のインフラ整備に 198 億ルーブルが支出され、うち 140 億ルーブルが地下鉄 3 号線（ネフスコ・バシリオストロフスコイ線）のプリモルスカヤ駅（既設）～ノボクレストフスカヤ駅（新設）～サブシキナ通り駅（新設）間の建設費用に、残りの 58 億ルーブルがプルコボ街道とドゥナイスキー大通りの立体交差化に充当される予定だ（ノーボスチ通信 2014 年 12 月 29 日）。

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

地下鉄駅の新設工事を所管するサンクトペテルブルク市輸送インフラ発展委員会のセルゲイ・ハルラシキン委員長は「建設が予定されている地下鉄ノボクレストフスカヤ駅は、サッカー・ワールドカップ開催期間中、ゼニト・アリーナの最寄駅として、公共交通機関によるアクセス向上という点で重要な役割を果たす」とし、同駅の建設にかかる費用を総額 326 億ルーブルと見込んでいる（ノーボスチ通信 2014 年 11 月 17 日）。

また、前述の地下鉄建設など輸送インフラの整備に関連し、今後、大型バスや地下鉄車両の購入計画もある。サンクトペテルブルク市輸送委員会のアレクサンドル・ボロビヨフ委員長によると、サッカー・ワールドカップ開催に際して、同委員会が所管するかたちで 65 台の大型バスを購入する計画があるという。本件の経費は 2015～2017 年の予算に計上されており、2016 年に購入にかかる入札が実施される予定だ。また、同委員長によると、2016 年から 2017 年にかけて、拡張が予定されている地下鉄 3 号線用に新規で 396 台の地下鉄車両を購入する計画もあるという。現時点では 192 台の購入経費しか計上されていないが、2015 年以降にサッカー・ワールドカップ開催に関する国家プログラムの予算が 5 億ルーブル増となる予定で、さらに 204 台の購入が可能になるという（ロシア 2018 通信 2014 年 11 月 18 日）。

2010 年以降、市内中心部から南へ 17 キロに位置するプルコボ空港の改修・拡張工事も進められている。第 1 段階として、2010 年から 2013 年にかけて既存の空港第 1 ターミナル北側に新ターミナルと北桟橋（ピア）が建設された。プルコボ空港改修・拡張プロジェクトは、民間資本を活用した官民連携（PPP）として実施されている。外国貿易銀行（VTB）やフランクフルト空港を運営するドイツ企業フラポートなどが出資するノーザン・キャピタル・ゲートウエーが、空港の運営・管理を行う。2010 年から 2013 年までの空港の改修・拡張工事費は 12 億ユーロで、同工事の総合請負業者はイタリア建設大手アスタルディとトルコのイチタシュ建設のコンソーシアム（企業連合体）だ（2014 年 1 月 10 日記事参照）。

第 2 段階としては、既存の第 1 ターミナルの改修・拡張工事が 2014 年から 2015 年にかけて実施されている。2015 年 2 月 3 日からは新第 1 ターミナルの運用が開始されており、夏ごろには敷地面積 3,200 平方メートル相当の追加スペースの運用も開始される予定だ。2014 年から 2015 年にかけての空港の改修・拡張工事費は 6,000 万ユーロ。新第 1 ターミナル運用開始後の年間航空旅客受け入れ能力は 1,700 万人に拡大する（「ロシア新聞」2 月 3 日）。
（2015 年 6 月 11 日　サンクトペテルブルク事務所　宮川嵩浩）

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

5. カリーニングラードのスタジアムは 2015 年下半期に建設開始（ロシア）

サッカー・ワールドカップ開催都市（全 11 都市）の中で、最も西部に位置するのがカリーニングラード（ポーランドとリトアニアに挟まれたロシアの飛び地）。スタジアム建設地の選定が当初予定より遅れるなど、同市での開催が危ぶまれる時期もあったが、現在は開催に向けて準備が進められており、スタジアムは2015年下半期に建設が開始される予定だ。同市におけるインフラ整備状況について、カリーニングラード州サッカー・ワールドカップ 2018 準備局などの関係者にインタビューした結果も踏まえて報告する。

＜トレーニング施設やホテル建設の計画も進む＞

2012 年 9 月に国際サッカー連盟（FIFA）から 2018 年のサッカー・ワールドカップ開催都市として認定されて以降、カリーニングラードでは、州政府傘下のカリーニングラード州サッカー・ワールドカップ 2018 準備局や、独立非営利団体「カリーニングラード 2018 事務局」などの組織を設立し、開催に向けて準備を進めている。

カリーニングラード州サッカー・ワールドカップ 2018 準備局のユーリ・マトチキン局長は「サッカー・ワールドカップ開催に際しては、スポーツ施設のみならず都市開発も実施する予定。道路や輸送網の整備、ホテル建設が都市開発の一環として考えられる」という。スタジアムの建設やトレーニング施設の再建の経費は連邦予算と州政府予算から支出される予定で、ホテル建設は官民連携（PPP）形式での実施が計画されている。この場合、カリーニングラード州政府、カリーニングラード市政府はホテル建設用の土地を提供し、民間の投資家が実際の建設およびその後の運営を行うという役割分担が想定されている。

2015 年 1 月 26 日、スタジアムなどサッカー・ワールドカップ用各種施設の建設予定地であるカリーニングラード市中心部のオクチャーブリ島で、土地整備のための排水工事が開始された。計 44 ヘクタールの土地整備を行うのはバルト建設で、工事費は 14 億 5,000 万ルーブル（ロシア 2018 通信 1 月 26 日）。また、今後建設されるスタジアム「バルチカ・アリーナ」の総合請負業者にはクロッカス・グループが選定されている。同社はロストフ・ナ・ドヌでのスタジアム建設も担当する。同社は 2015 年第 2 四半期までにスタジアムの設計を完了し、下半期から建設を開始する予定。現時点の計画では、同スタジアムの収容人数は 3 万 5,000 人、建設完了時期は 2017 年 5 月、建設費用は最大 152 億ルーブルを見込んでいる（ノーボスチ通信 2014 年 12 月 23 日）。

前述のスタジアム建設のほか、市内にある 3 ヵ所（ピオネール、ロコモティブ、バルチカ）のトレーニングセンターの改修工事も進められている。

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

＜空港を拡張、現在の 3 倍の旅客受け入れが可能に＞

輸送網の整備に関しては、カリーニングラード市から北東へ 17 キロの場所に位置するフラブロボ空港の拡張工事が行われている。空港拡張の設計および工事はエスタ・コンストラクションが担当している。第 1 段階は 2013 年に開始しており、2016 年 11 月に完了の予定。長距離路線用旅客機の離発着が可能となる。第 2 段階は、2018 年 6～7 月のサッカー・ワールドカップ開催前に完了し、年間の旅客受け入れ能力は 490 万人に達する予定だ（ノーボスチ通信 2014 年 12 月 23 日）。2014 年の年間利用旅客数は 150 万人だったことから、現行の約 3 倍の旅客受け入れが可能となる。

また、ホテル建設については、カリーニングラード市のセルゲイ・ボロパエフ副市長（サッカー・ワールドカップ準備担当）は「特に 5 つ星ホテルの建設が必要」という。同市では、フランスのアコーホテルズやポーランドのドウォル・オリウスキが新たなホテルの建設を計画している。なお、現在の計画では、2018 年までに最低で計 9 ヵ所のホテルが建設される予定となっている。

＜スタジアム施設管理面で外国企業の協力に関心＞

準備局のマトチキン局長は、サッカー・ワールドカップ開催に際してのインフラ整備面での外国企業との協力について、「特に、スタジアムの施設管理（警備システム、空調設備、芝の手入れなど）面での協力に関心がある」という。カリーニングラード 2018 事務局のイリヤ・スコロホドフ事務局長は「既にドイツや英国、スペイン、ポーランドなどから関連プロジェクトへの参画を検討する企業が来訪している」と話している。

（2015 年 6 月 12 日　サンクトペテルブルク事務所　宮川嵩浩）

6. まずは首都バクーでの欧州版五輪の開催に注力（アゼルバイジャン）

アゼルバイジャンでは、2015 年 6 月に第 1 回欧州競技大会（通称：ヨーロッパ・オリンピック）、2016 年には F1 グランプリ、2017 年には第 4 回イスラム諸国連帯競技会といった大きなスポーツイベントが続く。同国は、欧州競技大会のために新規に 5 ヵ所のスポーツ施設を建設し、まずは欧州競技大会の成功を目標に掲げている。それはそのまま、将来のオリンピック開催候補地として開催能力の高さを示すことになるからだ。

＜2 年半で競技インフラを整備＞

アゼルバイジャンでは、2015 年 6 月 12～28 日に第 1 回欧州競技大会が開催された。首都バクーでの開催は、2012 年 12 月の欧州オリンピック委員会総会で決定された。開催決

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

定から開催まで2年半という短期間だが、アゼルバイジャンは2013年から国家予算の5%前後を大会開催の予算に充て、着々と準備を進めてきた。

同国のアザド・ラヒモフ青年・スポーツ相によると、欧州競技大会のための予算は、大会運営費、スポーツ施設の建設費、市内の関連インフラ整備費の3つに分けられるが、このうち、スポーツ施設の建設費には約10億マナト（約1,170億円、1マナト＝約117円）が割り当てられた。

欧州競技大会には欧州各国から約6,000人のアスリートが参加し、20種の競技が18の競技会場で開催された。このうち、新規に建設された会場は国立競技場（サッカー場）、アクアティック・パレス（競泳・水中競技）、体育館（体操・球技など）、バイシクルモトクロス（BMX）場、射撃場の5施設だ。

国立競技場は2011年6月に着工し、2015年3月5日に完成した。座席数6万8,000で、3,600台分の駐車場を備えている。欧州競技大会の開会式と閉会式の会場になった。建築費は5億マナト。同施設のコンストラクションマネジメント（CM）と設計は韓国の希林総合建築士事務所が担当し、コントラクターはトルコのテクフェン建設だ。

競泳と水中競技の会場となるアクアティック・パレスは、2012年8月に建設が決定された。韓国のセクロがデザインした。敷地面積は6万6,000平方メートルで、国際水泳連盟の求める要件が全て満たされている。縦50×幅25メートルの競泳用、縦25×幅20メートルの飛び込み競技用、練習用の3つのプールがある。そのほかトレーニングルーム、ロッカールーム、会議室、多目的室が完備されている。建設費は約2億マナトだ。

このほか、射撃場が1億1,000万マナト、体育館「ヘイダル・アリエフ・スポーツコンプレックス」が5,000万マナト、BMX競技場を含む公園が1億マナトとなっている。

これら競技関係施設のほか、大会関連施設としては選手村（13棟、3,755部屋）、メディア村（4棟、1,464部屋）が建設された。競技場や関連施設の建設は順調に進み、アゼルバイジャン国家オリンピック委員会（NOC）のチンギズ・フセインゼイド第1副委員長は3月17日、欧州競技大会開催のための主な準備を終えた、と発表していた。

＜2024年以降のオリンピック誘致目指す＞

関係者の給与や広告宣伝費を含む大会運営費予算は9億6,015万マナトとなっているが、NOCのフセインゼイド氏は、大会期間中の外国選手の滞在費や食費ばかりでなく、参加49ヵ国からの全選手団の旅費までアゼルバイジャンが負担することを表明した（News.Az2月

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

26 日）。アゼルバイジャンでは 2015 年 2 月 21 日に、通貨マナトの対ドル交換レートが前日の 1 ドル＝0.7862 マナトから 1.05 マナトへと 33.6%切り下げられた。原油価格の値下がりで国家財政が厳しい中におけるこの措置は、国内外にさまざまな論議を呼んでいる。

これほどまでにアゼルバイジャンが欧州競技大会に注力するのは、将来のオリンピック開催を視野に入れているためだ。実は、バクーは 2016 年と 2020 年の夏季オリンピック開催地として立候補したが、競技会場の不足、交通などのインフラ未整備、国際大会の開催実績の乏しさなどの課題があるとして、いずれも 1 次選考を通過できなかった。政府は第 1 回欧州競技大会を成功させて実績をつくり、2024 年以降のオリンピック開催地となることを目指している。

イスラム諸国による同様の競技大会である第 4 回イスラム諸国連帯競技会も 2017 年 5 月にバクーで開催される。2015 年 4 月 7 日に、アゼルバイジャンのラヒモフ青年・スポーツ相とイスラム連帯スポーツ連盟（ISSF）総裁であるサウジアラビアのアブドゥラ・ビン・モサード・ビン・アブドゥラジズ・アルサウド王子との間で、同競技会開催に関する協定書が正式に調印された。競技種目は欧州競技大会と同規模の 20 種目の予定で、57 ヵ国からの参加が見込まれている。大会では、欧州競技大会のために建設された競技施設や選手村がそのまま活用される。大会運営について、ラヒモフ氏は「この大会に関するコメントは時期尚早」としながらも、欧州競技大会とは対照的に、「旅費・食費などの経費は自己負担となり、予算規模はそれほど大きなものにはならないだろう」とコメントしている（Turan オンラインニュース 4 月 8 日）。

＜2016 年には F1 グランプリ開催＞

首都バクーでは、2016 年に F1 グランプリが開催される。現在のところ、欧州競技大会の準備に追われ、F1 関連の施設建設に関する情報は少ないのが実情だ。欧州競技大会が終了すれば、バクーは F1 の準備に動き出すだろう。だが、実際の F1 関係の新規の関連施設の建設はそれほど多くないものとみられる。バクーでのグランプリは、モナコやシンガポールと同様、バクーの街並みを利用したストリートサーキットで行われる予定だからだ。

バクーでは既に GT3 のレース「シティ・チャレンジ・バクー」を 2013、2014 年に開催し、ストリートコースによるレース実績がある。このレースは、2012 年ユーロビジョン・ソング・コンテスト開催のために建設したクリスタル・ホールと「国旗広場」を回る全長 4.4 キロのコースを使用した。

F1 のためのコースはこれより 1.6 キロ長くなる。F1 コースをレイアウトしたのは、ドイツ人建築家で数多くのサーキットデザインを手掛けているヘルマン・ティルケ氏だ。バク

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

ーのサーキットは旧市街、高層ビル街、海沿いのプロムナードを通るもので、全長 6 キロ。コーナー数は右が 8、左が 12。1 周の平均速度は時速 208 キロの見込みだが、海岸沿いに 2.2 キロの加速セクションがあり、そこでは最高時速 340 キロに達する見込みだ。今後、ストリートサーキットのゴール付近に特別観覧席とパドック（自動車の整備場所）が建設されることになっている。
〔2015 年 6 月 15 日　欧州ロシア CIS 課　今津恵保（8 月 11 日加筆）〕

7. アルマトイで冬季ユニバーシアード関連 3 施設の建設進む（カザフスタン）

ユニバーシアード冬季大会が 2017 年にカザフスタン最大の都市アルマトイで開催される。競技施設と選手村の 3 施設の新設工事が進む中、経費を節減しようと首都アスタナ市との共同開催を探る動きも出始めた。

＜大小のアイスアリーナと選手村を建設＞

国際大学スポーツ連盟（FISU）は 2011 年 11 月、第 28 回ユニバーシアード冬季大会をカザフスタン最大の都市アルマトイで 2017 年 1 月 29 日～2 月 8 日に開催することを決定した。実施運営を行う「アルマトイ・ユニバーシアード 2017」執行機関のイリヤ・ウラザコフ事務局長によると、競技種目は合計 13（注）で、75 ヵ国から約 3,500 人の選手団のほか、招待者や観客など約 10 万人の来場を見込んでいるという。

競技会場にはシムブラク・スキーリゾート（海抜 2,260 メートル）、メデオ・スケートリンク（海抜 1,691 メートル）、コクジャイリャウ・スキーリゾートなど既存施設が候補地として挙げられているが、そのほか新たに（1）観客 1 万 2,000 人収容の大アイスアリーナ、（2）3,000 人収容の小アイスアリーナ、（3）5,000 人収容の選手村の建設が、2016 年秋の完成を目指して進められている。選手村には商店、食堂、インターネットカフェ、図書館、美容院、フィットネスセンターなどを設置するという。アフメトジャン・イェシモフ市長は「大会終了後は都市住民のためのスポーツ・文化施設として活用する」と力説する。2014 年 9 月時点でスポーツ用 2 施設は整地が完了し、大アリーナは基礎工事を終えているという（「krisha.kz」2014 年 9 月 17 日）。

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

ユニバーシアード冬季大会（2017 年）競技会場の候補施設、シムブラク・スキーリゾート

＜アスタナ市との共同開催探る動きも＞

こうした中で 1 月 9 日、アルマトイ市建設局のアルィムバエフ副局長は 3 施設の推定建設費を発表した。大アリーナが 426 億テンゲ（約 281 億円、1 テンゲ＝約 0.66 円）、小アリーナ 234 億テンゲ、選手村 385 億テンゲ、そのほか施設関連設備として電力幹線網整備に 87 億テンゲ、暖房供給網に 146 億テンゲ、上下水道供給網に 108 億テンゲの合計 1,386 億テンゲと見積もられている。同副局長によると、これらの費用は国家予算から支出されるが、このほかにも準備資金が必要なため資金不足が見込まれるという。

一方、2 月の政府拡大会議でナザルバエフ大統領は、2015 年に冬季ユニバーシアード関連で費やす経費は 1,000 億テンゲと述べた上で、経費節減のためにアスタナと両市で分担する可能性を示唆した（「megapolis.kz」2 月 16 日）。この報道によると、2011 年にアルマトイで開催された冬季アジア大会も、開催 2 年前に両市共同開催が決まったことを挙げ、2015 年が開催 2 年前に当たるユニバーシアードも同様に両市共同開催があり得るとしているが、アルマトイからもユニバーシアード執行機関からも公式の見解は出ていない、という。なお、アルマトイは 2022 年冬季五輪の開催地にも立候補していたが、7 月 31 日の国際オリンピック委員会総会で開催地が北京に決定した。

（注）必須競技 8 種目：アイスホッケー、フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート、スノーボード、スキー、バイアスロン、クロスカントリー、カーリング。選択競技 5 種目：スキージャンプ、バンディ（スケートリンク上で行うフィールドホッケー形式の氷上スポーツ）、フリースタイルスキー、スピードスケート、ノルディック複合。
〔2015 年 6 月 16 日　欧州ロシア CIS 課　芝元英一（8 月 11 日加筆）〕

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

「CIS におけるスポーツ・インフラ整備動向」

2015 年 8 月発行

独立行政法人 日本貿易振興機構
〒107-6006　東京都港区赤坂 1-12-32　アーク森ビル 6 階
電話 03-3582-1890（海外調査部欧州ロシア CIS 課）

禁無断転載

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.